

視察（研修）報告書

令和6年1月31日

府中市議会議長 様

会派名又は
議員名 岡田 隆行

日 時	令和6年1月29日（月）～1月30日（火）
視 察（ 研 修 ） 先	1 日 目…喜山倶楽部「平安の間」 2 日 目…日本教育会館
視 察（ 研 修 ） 項 目	地方議会議員政策セミナー
参 加 者	岡田隆行
視 察（ 研 修 ） 内 容	【1 日 目】 《第1講座》地方財政対策を中心とした2024年度政府予算案の特徴 《第2講座》介護保険制度の動向と自治体における第9期介護保険事業の改善をめざして 【2 日 目】 《分科会》自治体財政の基礎講座～しくみから分析方法まで～
所 感	【1 日 目】 ・国と地方の財政関係において、その役割分担の実際がいくらか分かった。 ・地方自治体の歳入と歳出において、その基本の実態が理解できた。 ・2024年度の政府予算案と地方財政対策について見識を深めることができた。 ・財務省主導の財政運営が強まる中で、今後の地方財政は厳しい削減圧力が求められて行きそうだ。自治体は、客観的な財政状況と地域のニーズ・発展方向を正しく認識したうえで、真に優れた政策を創発・実践していくことが求められそうである。 【2 日 目】 ・「自治体の財政運営の唯一の原則は『赤字にならないこと』」

	これが心にストンと落ちました。 ・収支不足をカバーすることができる唯一のお金が財政調整基金であり、それがこの基金の本来的な役割。これは一般家計の普通貯金と同じだということがよく分かった。 ・自治体財政にとって一般財源の大きさこそが最も重要で、その多寡によって、どれだけの行政サービスが実施できるかが決まってくることも納得できた。 ・自治体は赤字にならない限り、何にどれだけのお金を使うかは自由だと講師は言われたが、これも納得できた。 ・財政調整基金に減っていくことのみで一喜一憂することはすべきではないと思った。
--	---